

統合の「新大学」 価値観を尊重し 多様な学び体験

統合によって今春生まれ変わった各大学は新たな船出をアピールした。
大阪公立大は大阪府立大と大阪市立大が統合し4月

に開学。辰巳砂昌弘学長は初めてとなる入学式で「全く異なる文化との出会いと調和は大学が発展するための原動力。互いの価値観を尊重しながら学びを深めてほしい」と述べた。

大阪公立大は府大の4学域、市大の8学部を1学域11学部に再編した。国公立大としては学部の入学定員で大阪大、東京大に次ぐ規模となる。

北海道では、小樽商科大、帯広畜産大、北見工業大の国立3大学が運営法人を統

合し、4月に北海道国立大
学機構を立ち上げた。

このうち小樽商科大の入学式では、機構トップの長谷山彰理事長が「3大学が連携し、分野融合型の新しい教育研究を展開することが可能になる。新入生の皆さんはより多様な学びを体験するチャンスに恵まれた」と統合による効果を強調した。
(茂木祐輔)